

蓮平、第二號、一五九、四、一八一

一、後進改善を期すとして更みよりの
新章を設ける事、中が新章を
生じる兄弟の為に斗争を起す

の如きを本部へ派遣せよ、

或は新章を用きて争派、被撃

を防げよ。

相手の弱いものと勝負をうく、

二、更の階級性を擁護するため、其の
の爲しに統一派の強化を要す！

三、新章の施行の前に利害を抱く者
は、其の立場を明確に示せよ。

第一主義、新章の危機を歎く！
老練の自立化

今後新章が佛組会本部

勞秘第九。五號

昭和四年五月二十七日

監視總監 唐田光雄

内務大臣 望月主介殿
社会會長 宮殿
北海道 京都 大阪 神奈川
各廳府縣知事長官殿

中外商業新報社直營所勞働會議 一關スル件 (第三報)
要旨
—早議開催於テ此、上早議の續編スルシト、不利ナルナ格ナ相寄譲歩スル
様様ノ、一派二十音尊資金覓、底ナ圓滿解済スヘン看取セラレシカ結局金
一封問題相違ヨ一文書鑑ナヌ早議開催於テハ直營所勞働スヒト策動ス者アリ嚴
言警戒中